

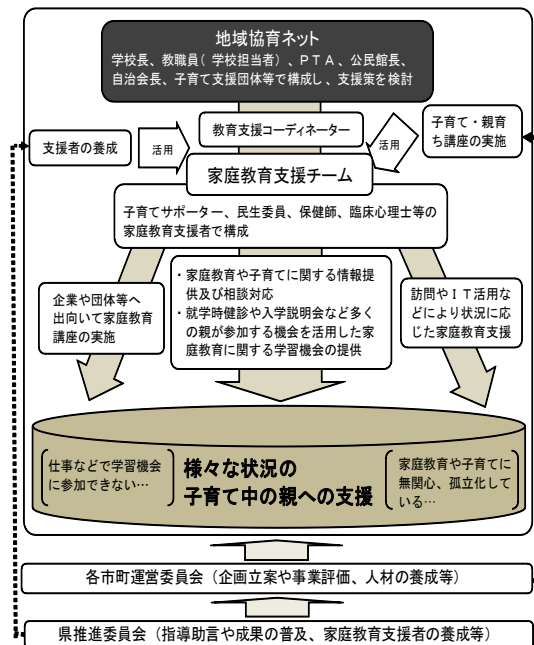
家庭教育支援チームによる支援

1 家庭教育支援チームの概要

子育て経験者や教員OB、PTAなど地域の子育てサポーターリーダーをはじめ、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健師や臨床心理士等地域の人材から構成され、身近な地域を活動範囲とする「家庭教育支援チーム」を組織化し、家庭教育に関する情報提供や相談対応、学習機会のコーディネート等を実施する。

○家庭教育支援チームの主な活動内容

- ・ 広報誌、ホームページ等での情報提供
- ・ 保護者向け子育て講座や親子行事参加など、学習機会の提供
- ・ 家庭訪問による相談対応、情報提供



2 活動事例（山陽小野田市家庭教育支援チーム）

(1) 活動の概要

- ① 家庭教育支援チーム員の構成
主任児童委員、民生児童委員
- ② 活動範囲
小学校区
- ③ 活動年間計画
5月 第1回会議
6月 サポートメンバーとの合同会議・研修
7～9月 各小学校子育て講座のコーディネート
9月 第2回「子育て講座」打合せ会議・研修
10～11月 就学時健康診断「子育て講座」
1月 第3回会議・研修
随時 研修会等参加

(2) 就学時健康診断子育て講座運営の実際

- ① 家庭教育支援チームのメンバーを中心に、子育て講座を10～11月に市内12小学校で行われる就学時健康診断の時間を活用して、約1時間程度実施する。
- ② 子育て講座を実施するまでに、5月に家庭教育支援チーム及びサポートメンバー合同会議を開催し、9月に第2回会議を開き実施計画等の打合せを行う。



小グループ懇談会

【事前打ち合せ】

- ・ 講座の進め方の確認
- ・ 懇談内容の検討

【子育て講座】（進行：支援チーム）

- 開会の挨拶、日程説明
- ① 講義（30分）
 - ・ 早寝早起き朝ごはんなど
 - ・ 就学前に身に付けておきたいこと
- ② 小グループ懇談会（30分）
 - ・ 生活リズムや基本的な生活習慣
 - ・ 小学校生活への不安や悩みなど
 - ・ 子育て経験等のアドバイス
- アンケート記入、閉会の挨拶

【反省会】

- ・ 懇談会で出た話題等の情報交換
- ・ 学校への報告事項の確認

3 成果と課題

【成果】

- 身近な地域におけるきめ細かな家庭教育支援の促進
- 地域人材の育成と、活動を通じた支援者のネットワーク化

【課題】

- 活動箇所の拡大
- 放課後子ども教室、学校支援活動との連携によるネットワークの拡大